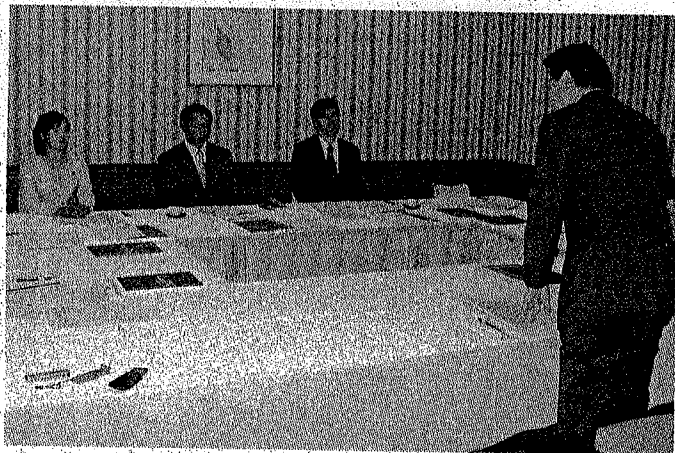


京都府内選出の民主党国会議員に政策提案する山田啓二知事（26日午前8時半、東京都千代田区）



国予算、府が12点要望

地域主権など 民主議員に説明会



京都府は26日午前、国の2010年度予算編成に向けた要望活動として、府内選出の民主党国会議員を集めた政策提案の説明会を東京都内で初めて開いた。山田啓二知事が「地域主権の確立」を自指して掲げる12項目の重点要望について訴え

た。

民主党が政府への陳情、要望を各都道府県連を通じて幹事長室に集約する新ルールを打ち出したことを受けて府が開催を呼び掛けた。国会開会中のため、政務三役を務める5議員は欠席し、北神圭朗党国会対策副委員長と平智之、小原舞両衆院議員の3人が出席した。

山田知事は「財政状況が厳しいのは理解しているが、府民生活も

それに増して厳しい」と訴え、政府が概算要求に盛り込んだ農業の戸別所得補償制度や高速道路の無料化に向けた地方への配慮、京都縦貫自動車道の早期完成などを求めた。

約2時間にわたって意見交換した北神氏は「地方と国の関係など根本的な提案もあり、参考になった。地方の声が国政にしっかり届けられるよう迅速に対応したい」と話した。

山田知事は関係省庁を回る例年の「省庁回り」を民主党のルールに従って取りやめた

が、「(要望内容の)技術的な問題が省庁に伝わるかは不安だ」と語った。